

## -臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、麻酔科では、本学で保管している診療後の診療情報等を用いて、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 経頸動脈アプローチ経カテーテル大動脈弁置換術における超音波ガイド下中間頸神経叢ブロックの安全性および術中血行動態の後方視的評価

[研究対象者]

2024年4月から2026年4月の間に東京女子医科大学において、大動脈弁狭窄症と診断され、経頸動脈アプローチで経カテーテル大動脈弁置換術を行なった患者様

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、身長、体重、BMI、体表面積、既往歴、定期内服薬、人種、現病歴、喫煙歴、併存症の有無、術前バイタルサイン（血圧、心拍数、経皮的酸素飽和度、脳酸素飽和度[rSO<sub>2</sub>]、体温、脳波）、血液検査結果(血算、生化学、凝固)、アレルギー歴、頸動脈血管エコー所見、心電図、術式、使用した弁の種類、原疾患、手術を施行した診療科、麻酔方法、使用した麻酔薬の種類、麻酔薬の量、輸液の種類、輸液量、出血量、手術中に使用した昇圧薬を含む薬剤の内容および量、手術時間、術中モニタリング記録（血圧、心拍数、脳波、経皮的酸素飽和度、脳酸素飽和度[rSO<sub>2</sub>]、体温、尿量、動脈血液ガス結果)尿量、体温、気道確保の方法、動脈血液ガス結果、術後30日間の合併症の有無および内容、ICU滞在日数、入院期間、気道確保の有無、酸素投与の有無、術前心エコーの具体的パラメータ（LVEF、左房径、左室径、大動脈弁口面積、平均圧較差、大動脈弁最大血流速度、AR/MR grade、PASP）、術前CT所見（頸動脈径、血管解剖の評価）、STS score / EuroSCORE II、頸動脈クランプ時間、術後心エコー所見（弁機能評価）

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

当院で行われている経頸動脈アプローチによる経カテーテル大動脈弁置換術において、神経ブロックを用いた麻酔管理を行った際の術中の血圧や心拍数などの変動を調査し、本麻酔法の安全性を評価することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 麻酔科 基幹分野長 長坂安子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 麻酔科 助教 武石健太

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）